

令和7年度 事業計画



学校法人 加計学園

御影インターナショナルこども園

MIKAGE INTERNATIONAL KINDERGARTEN

「Be Global！」をコンセプトに、1歳児～5歳児の乳幼児を対象とした乳幼児教育を行っています。



御影インターナショナルこども園は、英語イマージョン教育とモンテッソーリ教育を二本柱とする認可外保育施設です。

これからのグローバルな世界で、世界共通語である英語の役割はますます大きくなります。そのため、御影インターナショナルこども園では、未来を背負う子どもたちのために、日常生活をネイティブの外国人教師と一緒に過ごし、身近に英語を感じながら幅広い視野を育んで参ります。「日本人としてのアイデンティティを身につけ、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てます」という教育保育指針のもと、特色あるプログラムを用意しています。「日本語も英語も私たちのことば！」というキャッチフレーズで、両方が飛び交う生活を送っています。園生活では単に英語のレッスンだけでなく、子どもたちの好奇心や探求心を満足させる楽しい時間となっており、濃密に英語に浸る（イマージョン）機会が多いため子どもは驚くほど英語を吸収しています。幼児期に異文化に触れることはとても大きな意味を持ちます。世界を知り、広い感覚を持ち、世界中の人々とつながることによって「平和」についても心を寄せることができる豊かな心を育んで参ります。

2023年度から子どもを自立に導くモンテッソーリ教育を試験的に5歳児に導入し、2024年度には対象を乳児や3歳、4歳にも広げ、段階的に環境の整備を実施しました。2025年度はさらにその質の向上を図る計画です。子どもは自分で成長しようとする力を持っています。子どもは遊びの中からたくさんのことを学びます。子どもは自らやってみたい、挑戦したいという気持ちを持っています。そんな気持ちに応じることのできる生活環境を整え、子どもたち自身が満足する毎日を主体的に生活できるように応援していきたいと思えます。そこで子どもたちが自由に思う存分に自分の興味を持ったことに挑戦し、「できた！」という達成感をたくさん味わい子どもたちが生き生きと過ごせるようにします。

今年度の重点的な取り組み

- ① イマージョン教育の強化とモンテッソーリ教育の質の充実
- ② 安全かつ衛生的な保育室や園庭の整備
- ③ オンライン研修やモデル園の視察などによる教員研修の充実
- ④ WEB 広告による効果的な広報活動による園児募集活動の強化

御影インターナショナルこども園 園長 澤井 育子

I. 保育教育の推進について

1. 保育教育環境の整備、危機管理に関する目標

質の高い保育を行う認可外保育施設として、認可施設と遜色のない安全・安心かつ衛生的な保育教育環境を提供する。

中期計画	事業計画
【1】夏の暑さ対策に関する計画 夏季の酷暑の中でも、プール遊びなど園庭での遊びを安全に楽しく実施できる環境に改善するため、2022 年度に、園庭に遮光ネットを設置する。	実施済
【2】アレルギー対策に関する計画 衛生環境を改善するため、アレルギーの要因にもなる各教室・ホール床のタイルカーペットを、フローリングに改修する。併せて給食委託業者と協議して、アレルギー対応の食事の改善と、保育士への指導を実施する。	①フローリング化工事について、1 階保育室で実施する。 ②アレルギー対応の食事改善については、令和 6 年度より給食委託業者が変更になり、新しい管理栄養士が作成するアレルギー指示書により日々の給食での注意点などの情報を職員と共有している。

II. 園児の支援について

1. MIK 教育プログラムの充実に関する中期目標

MIK プログラムを実施してこどもの可能性を広げる教育を行うこども園を目指していたが、他園との差別化を図るため世界中で周知され行われている「モンテッソーリ教育プログラム」に移行する。

中期計画	事業計画
【3】外部講師を招聘した教室の点検、評価に関する計画 絵画造形、体育あそび、ダンス[新設]、論語の各教室の自己点検・評価を行い、その結果に基づき開講教室、内容を再編する。	○園児の反応や職員の意見、保護者アンケートを参考に、継続、実施回数の変更、中止など見直しを行う。 ①乳児についてはリトミックの専門性を持つ保育士が日常的に実施、体育遊びは継続、アートについては回数を減らして継続する。 ②2023 年度途中から開始した外部のダンス講師によるダンスは英語対応可能なインストラクターに変更になるため、運動会や発表会で披露できるような演目や演技の指導を依頼する。
【4】楽しい PC・プログラミングのお稽古開設に関する計画 岡山理科大学ブランドを活かした楽しい PC・プログラミングのお稽古の 2025 年度開設を目指す。保護者のニーズ調査等により、時代と保護者のニーズを見極め、対象年齢、指導者、環境整備、プログラミング能力の到達度の設定など、具体的な構想案を策定する。	○コドモンのオプション機能であるアンケート機能を利用し、毎年、保護者ニーズを調査する。 ① プログラミングの課外活動を検討したが近隣に同様の教室が複数あるため予定を変更する。2024 年度に岡山理科大学の科学ボランティアの協力でサイエンスショーを実施したところ大変好評であったため、今後はプログラミングではなくサイエンスショーを継続的に実施する。

中期計画	事業計画
【4-2】モンテッソーリ教育の導入に関する計画 こどもの可能性を広げる保育教育として、新たにモンテッソーリ教育を2024年度から正式に導入する。子どもにはモンテッソーリ環境を用意し、多様性のある子ども社会の準備を行う。	○2024年度は3歳児、4歳児も対象とし、また乳児（1、2歳）用のモンテッソーリ環境を徐々に整えた。2025年度は専門職員以外も関与しながら全体的に教育の質の充実を図る。 ○2025年度については、主に午前中に年齢別による横割りクラスのイマージョン教育を実施するが、午後はモンテッソーリ教育の特徴でもある縦割り（異年齢）クラスで過ごす時間帯を増やし、異年齢交流を促進する。

2. 質向上によるブランド力強化に関する中期目標

入園先の選択において重要となる保育士の教育力・保育力を積極的な研修制度により向上させるとともに、英語イマージョンプログラムの価値向上により、こども園のブランド力向上を目指す。

中期計画	事業計画
【5】保育士研修の充実に関する計画 ①園内研修、外部研修への参加義務を課す。 ②保育士、幼稚園教諭のW取得を推奨する。 ③自己研鑽への支援制度の創設を3年以内に整備する。	①2025年度は保育施設向けITサービス「コードモン」の提供するコードモンカレッジの研修動画を最大限活用し、職種にかかわらず幅広い分野の講座を受講することで全員に園内研修を実施する。 ②資格未取得の職員に対して積極的に資格取得を促す。 ③2024年度途中より利用可能になったe-JINZAIのオンライン研修を積極的に受講し、各自空き時間に自己研鑽に努める。
【6】英語イマージョンプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画 保護者の満足度、ニーズを調査する。	○午前中に年齢別のプログラムでイマージョン教育の強化を図ると同時に異年齢の縦割りクラスでも積極的に英語を使って遊ぶ時間帯を増やす。また引続きコードモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。
【7】外国人教員の活性化に関する計画 外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。	○イマージョン教育のMIKスタイルを確立するため2024年度にはイマージョンディレクターによる新プログラムを導入したが、行事予定の変更や3歳児への指導が予定通り進まず、当初の計画通りに実行できなかった。2025年度は年度当初から年度末まで一貫した時間割で確実に新プログラムを実行する。また他のインターも視察し、保護者からの反応なども参考に、今後に向けての目標を定める。
【8】イマージョンプログラムの改定に関する計画 2023年度を目途に目標の再設定、保育士（日本人）とのコラボ案を策定する。	○午前中は年間を通じて準備したイマージョンプログラムを確実に実施して、年度末には達成度を評価する。 ○午前の年齢別のイマージョン教育だけでなく、午後からも少しでも長く英語に触れる機会を増やすため、日本人保育士がより積極的にネイティブの職員と連携して保育にあたる。

Ⅲ. 国際化の推進について

1. 質向上によるブランド力強化に関する中期目標《再掲》

→ 英語イマージョンプログラムのブラッシュアップに関する中期目標

英語イマージョンプログラムの価値向上により、こども園選択の際の差別化要素まで引き上げる。

中期計画	事業計画
【6】英語イマージョンプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画《再掲》 保護者の満足度、ニーズを調査する。	○午前中に年齢別のプログラムでイマージョン教育の強化を図ると同時に異年齢の縦割りクラスでも積極的に英語を使って遊ぶ時間帯を増やす。また引続きコドモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。
【7】外国人教員の活性化に関する計画《再掲》 外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。	○イマージョン教育の MIK スタイルを確立するため 2024 年度にはイマージョンディレクターによる新プログラムを導入したが、行事予定の変更や3歳児への指導が予定通り進まず、当初の計画通りに実行できなかった。2025 年度は年度当初から年度末まで一貫した時間割で確実に新プログラムを実行する。また他のインターも視察し、保護者からの反応なども参考に、今後に向けての目標を定める。
【8】イマージョンプログラムの改定に関する計画《再掲》 2023 年度を目途に目標の再設定、保育士(日本人)とのコラボ案を策定する。	○午前中は年間を通じて準備したイマージョンプログラムを確実に実施して、年度末には達成度を評価する。 ○午前の年齢別のイマージョン教育だけでなく、午後からも少しでも長く英語に触れる機会を増やすため、日本人保育士がより積極的にネイティブの職員と連携して保育にあたる。

Ⅳ. DXの推進について

1. 業務の効率化に関する中期目標

業務の効率化を図ることで事務処理の省力化を図り、事務職員が働きやすい環境を目指す。

中期計画	事業計画
【9】WEB 請求への切り替えに関する計画 2023 年度から保育料等の各種支払い請求をWEB 化する。紙による請求を原則禁止し、封入作業等の労力、時間削減を図る。	○実施済 2024 年度に WEB 請求への切り替えについては園児管理ソフトのコドモンのオプション機能を活用して電子請求書を発行し配信することで、保育料請求業務を簡素化した。また連絡帳を廃止し、コドモンのドキュメンテーション機能を活用し、配信により保護者との情報共有を推進し、保育士による事務処理も省力化した。

V. ガバナンス体制と内部質保証システムについて

1. 御影インターナショナルこども園の新展開の方向性に関する中期目標

園の形態を変えることで公的助成を受けられる組織に改変し、安定した財政基盤の確立を目指す。

達成が困難と判断した場合は、存在感があり、募集力の安定した認可外こども園を目指す。

中期計画	事業計画
【10】神戸市、有識者等への意見聴取に関する計画 2022 年度中に、財政基盤の確立の観点からメリット・デメリットを洗い出す。	実施済
【10-2】御影小規模保育ルームに関する計画 認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。	実施済
【11】新展開実現へのプロセス決定に関する計画 2024 年度を目途に、具体的な計画を策定する。	○実施済 2024 年度よりこども園の新たな方向性として、イマージョン教育とモンテッソーリ教育を園の特徴の 2 本柱とすることとし、イマージョン教育については新プログラムを導入、モンテッソーリ教育については教具や環境を整備し対象を全園児に広げ充実を計った。
【12】学童保育の再開など新規事業のニーズ調査に関する計画 ①関係機関、関係者へのヒアリングを実施する。 ②2024 年度を目途に、具体的な計画を策定する。	○こども園の園舎や園庭を利用した新規ニーズを調査する。 ①コドモンのアンケート機能を利用し課外活動、講演などについてアンケートを実施する。 ②2024 年度に実施した岡山理科大学の科学ボランティアのサイエンスショーが好評だったので 2025 年度には対象をこども園の園児だけではなく、連携園や地域の卒園児にも拡大して実施する。

2. 質保証に関する中期目標

将来、スタッフが変わっても、園の運営と保育力を担保し、質保証できる組織を目指す。

中期計画	事業計画
【13】基本データの整理に関する目標 ①2024 年度を目途に、散逸しかねない各種データを集約、整理し、10 年史[データ編]を製作する。 ②溜まる一方の文書の管理(保管/電子化、廃棄)を行う。	○文書だけでなく電子データについても整理する。 ①開設当時から在職している職員がいないため、10 年史作成のための資料を収集するのが難しい。HP 内で園の過去のイベント等の様子を年度ごとに掲載し、園の歴史を紹介する。 ②実施済 保存年限を過ぎた文書を処分し、サーバー内の電子データについても整理した。

3. 安定した財政基盤の構築に関する中期目標

少子化の中においても、安定した運営ができる組織を目指す。

中期計画	事業計画
【14】収支改善に関する計画 ①段階的に定員確保を達成する。	①園児獲得のために主に WEB 広告による広報活動を強化すると同時に、定員の見直しについても検討する。

中期計画	事業計画
②収支バランスの適正化を図るため、保育料収入の増加策と人件費抑制策を実行する。	②加速化する少子化に対応するため、少ない職員で運営できる縦割りクラスによる保育時間の延長を実施し、人件費抑制を図る。
【10-2】御影小規模保育ルームに関する計画《再掲》 認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。	実施済
【15】 園児募集活動の強化に関する計画 ①インターネットを活用した広報活動の展開 ②ホームページのリニューアル ③広報刊行物の見直し	○2024 年度に展開した WEB 広告等による広報活動により HP のトップページへのアクセス数は大幅に増加したので 2025 年度も継続して実施する。 ①園庭開放や見学会等、行事に連動した WEB 広告の回数を増やす。 ②スマホによる検索が圧倒的に多いため、スマホ画面で見やすい内容に修正する。 ③刊行物ではなくデジタルパンフレットやインスタグラムも活用し園児の生き生きとした表情や明るく広い園庭の良さをアピールする。

主な行事予定

主な行事予定	
4 月	入園の会 進級式 こいのぼり揚げ クラス懇談
5 月	春の遠足
6 月	スポーツデー 参観・懇談会
7 月	七夕まつり 水遊び
8 月	
9 月	入園説明会 お泊り保育 入園申込・選考
10 月	秋の遠足 ハロウィンパーティー
11 月	七五三詣り
12 月	みんなの発表会(幼児/こども園) クリスマス会
1 月	初詣 雪遊び遠足 交通安全教室
2 月	豆まき
3 月	お別れ会・お別れ遠足 卒園式

児童・教職員数

■在籍児童数（5月1日現在）

御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
1 歳児	1 2	7
2 歳児	1 8	1 3
3 歳児	3 0	1 5
4 歳児	3 0	1 7
5 歳児	3 0	1 2
合計	1 2 0	6 4

■教職員数

園長	副園長	英語 教員	保育士	事務 職員	計
1	0	4	6	2	1 3

（注）保育士には子育て支援員 1 人を含む。